

内 訳 書

1. 調達物品及び構成内訳

1	ドレーゲル社人工呼吸器 Babylog VN500	1 式
1-1	Babylog VN500	1
1-2	トロリー(標準レール/ブラケット付)	1
1-3	呼吸回路ホルダー	1
1-4	テスト肺リーク付き	2
1-5	耐圧ホース 5m(Air/O2)	各 1
1-6	HFO オプション	1
1-7	Volume Gurantee/PC-MMV オプション	1
1-8	トレンド機能オプション	1
1-9	Smart Pulmonary View オプション	1
1-10	NIV オプション	1
1-11	カプノプラスオプション	1
1-12	新生児用フローセンサーISO(品番:841130)	4
1-13	フローセンサー(5個/箱 品番:8410179)	1
1-14	新生児呼気弁(品番:8415270)	3
1-15	フローセンサーケーブル(品番:8416600)	2
2	フィリップス社 IntelliVue 外部機器取込みモジュール	1 式
2-1	IntelliBridge EC10 外部機器取込みモジュール (ドレーゲル社 Babylog VN500 用ドライバ含む)	1
2-2	IntelliBridge EC5 ID モジュール (ID モジュール接続ケーブル含む)	1

2. 仕様

1. 本体構造について

- 1-1. 人工呼吸器装置は、ガス制御部と操作モニター部に別れ、操作モニター部は専用架台以外にもレール部等へ容易に装着が可能であること。
- 1-2. 操作モニターは、カラータッチパネル方式で、17インチ以上を有すること
- 1-3. USB 端子を有し、各種データや波形画像を容易に出力できること。
- 1-4. 本体は内部バッテリーを有すること。

2. 基本性能について

- 2-1. 新生児から小児までの患者に使用可能であること
- 2-2. 新生児・未熟児(1000g以下)への対応、微細な換気に対応できるようにフローセンサーは口元に配備されており、且つ熱線式センサーであること
- 2-3. 自発呼吸に対し、最大 30L/min のフロー供給が可能であること。
- 2-4. 使用開始前に本体機能をチェックする“デバイスチェック機能”を有すること。
- 2-5. リークチェック機能及びコンプライアンス補正機能を有すること。
- 2-6. 自動リーク補正機能及び換気量補正機能を有すること。
- 2-7. 酸素センサーは半永久的に交換不要であること

3. 換気モードについて

- 3-1. 従圧式換気モードとして、PC-CMV、PC-AC、PC-SIMV、PC-PSV、PC-HFO を有すること
- 3-2. 自発呼吸モードとして、SPN-CPAP、SPN-PS を有すること
- 3-3. 従圧式換気モードにおいて、換気量補償機能を有すること
- 3-4. 無呼吸バックアップ換気は漸減波設定が可能であり、PIP 実測値+5cmH₂O 未満でも呼気弁から呼出可能であること

4. 換気設定モードについて

- 4-1. 一回換気量は 2~300ml の範囲で設定可能であること。
- 4-2. 吸気圧は 1~80cmH₂O の範囲で設定可能であること。
- 4-3. 吸気時間は 0.1~3 秒の範囲で設定可能であること
- 4-4. 呼吸回数は 0.5~150 回の範囲で設定可能であること
- 4-5. PEEP は 0~35cmH₂O の範囲で設定可能であること
- 4-6. 立ち上がり速度調整 Ramp は 0~2 秒の範囲で設定できること。
- 4-7. フロートリガー感度は 0.2ml~5L の範囲で設定できること。
- 4-8. HFO-MAP の設定は 5~50cmH₂O の範囲で設定できること。
- 4-9. HFO 一回換気量の設定は 0.2ml~40ml の範囲で設定できること。
- 4-10. HFO 周波数の設定は 5~20Hz の範囲で設定できること。

5. モニタリングについて

- 5-1. 各測定項目を使用条件に合わせたカスタマイズでの表示が可能であること。
- 5-2. F-V、P-V、F-P のループ曲線表示が可能であること。
- 5-3. 圧、フロー、ボリューム波形とトレンドの並列表示が可能であること。
- 5-4. 分時換気量、リーク率、吸気・呼気一回換気量、呼吸回数、自発呼吸数、強制換気回数、酸素濃度、気道内圧 (最大/平均/平均/PEEP)、気道抵抗、時定数、自発吸気時間、コンプライアンス、Amp、が呼吸器本体モニターで表示可能であること。
- 5-5. 一回換気量、呼吸数、最高圧、平均圧、分時換気量、コンプライアンス、酸素濃度について 24 時間分のトレンドグラフ表示が可能であること。

6. アラームについて

- 6-1. 供給ガス圧低下、酸素濃度上昇・低下のアラームを有すること。
- 6-2. アラームの内容や重要度により赤、黄、青色表示(3 段階)、日本語表示されること。
- 6-3. アラーム発生時に、その“原因と対処”が、画面上に表示される機能を有すること。
- 6-4. 発生アラーム項目、設定変更、変更履歴を 5000 件記憶及び表示可能であること。
- 6-5. 呼吸回路の誤接続に対し、アラームする機能を有すること。
- 6-6. 患者の無呼吸時にアラームを有すること。

7. その他

- 7-1. 当院 NICU に導入予定のフィリップス社部門システム「ACSYS」との情報連携を実施するにあたり、専用の外部機器取込みモジュールを一式準備すること。